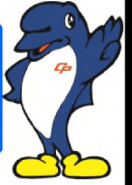




「出会い頭」の交通事故に注意

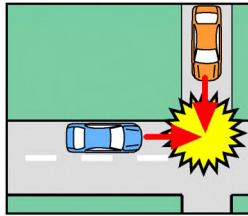


令和5年中、千葉県内で発生した車両同士の交通死亡事故のうち、最も多かったのが「出会い頭」の事故でした。事故の発生しやすい場所や原因を知って、安全な運転を心掛けましょう。

注：車両とは四輪車・二輪車・原動機付自転車・自転車を指します。

出会い頭事故とは 進行方向が交わる車両同士が衝突する事故を指します

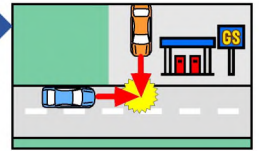
最も死亡事故が多いのは「**交差点**」 → 車両が行き交うほか、歩行者も通行するため、事故が起こりやすい場所です。



自転車・二輪車の
関わる事故も多発



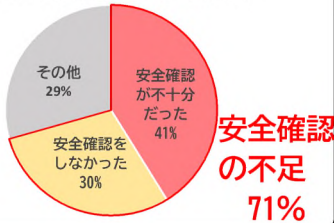
こんな場合も注意
店舗等の敷地から
道路に出るとき



主な原因は

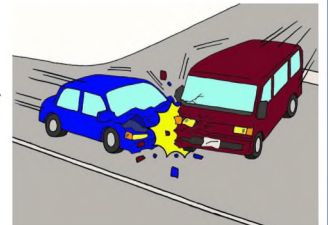
「安全確認の不足」です

車両相互の交通死亡事故（出会い頭）における人的要因（令和5年、千葉県内）



安全確認を十分にしていなかったために、

- 進行してくる車両を見落とす
- 進行してくる車両の速度や距離を誤り、「行けるだろう」と判断ミスをする
- 赤信号や一時停止の標識を見落とす等の理由によって事故が起きています。



事故を防ぐために

交差点では車両が「来る」という心構えを

- スピードを控えて、信号や標識、他の車両の動きなどをよく確認しましょう。
- 信号や一時停止の標識がなく、見通しの悪い交差点を通行するときは、必ず徐行（すぐ止まれるような速度で進行）しましょう。

「止まれ」の標識や道路標示があるときは

- ・ 停止線の直前（停止線がないときは、交差点の直前）で必ず一時停止し、安全を確認しながら少しずつ進行しましょう。
- ・ 交差道路側が一時停止でも、必ず安全確認しましょう。標識を見落とした車両が進行してくるおそれがあります。

自転車の一時停止無視（見落とし）に注意

- ・ 自転車も「車両」です。信号や標識を守りましょう。
- ・ いつも通る交差点に「止まれ」の標識はありませんか？見落とししていないか、意識して確認しましょう。

